

大学生結婚・子育て未来体験支援事業
大学生の子育て家庭訪問体験活動 学生アンケート結果

2018年3月
神戸新聞 地域総研

(1)実施概要

- ・目的：子育て家庭訪問体験前後の学生の結婚・育児に対する意識や体験の感想を調査することで、事業効果を検証し、今後の運営の参考とするため
- ・対象者：子育て家庭訪問体験事業参加大学生
- ・調査方法：各学生が子育て家庭訪問体験をした直後にWEBアンケートで実施
- ・実施期間：2017年7月30日～2018年1月31日
- ・回答者：51名（男性3名、女性48名）

(2)結果概要

【訪問前の意識について】

- ・普段、3歳以下の子どもと接する機会が「よくある」…18% (4頁：問7参照)
- ・活動に参加する前の育児に対するイメージ「育児がうまくできるか不安」…65% (5頁：問10参照)



【訪問後の意識について】

- ・今回の訪問により、育児に対する不安が、「軽減された」…81% (19頁：問15参照)
軽減された理由 (19頁：問16 回答1～41参照)
軽減されなかった理由(19頁：問16 回答42～51参照)
- ・訪問後に結婚に対するイメージが「良くなった」…78% (23頁：問17参照)

(3) アンケート質問項目

問1	子育て家庭を訪問した日付を教えてください。	省略
問2	訪問した時間(家庭にいた時間)を教えてください。	省略
問3	訪問先のお宅のお名前を教えてください。	省略
問4	あなたの氏名を入力してください。	省略
問5	あなたが所属する大学名、学部・学科名、学年を教えてください。	P1
問6	あなたがこの事業に参加しようと思った理由(動機)は何ですか？率直にお聞かせください。	P3

■あなたの普段の行動や意識についておたずねします。

問7	あなたは、普段、3歳以下の子どもと接する機会がどの程度ありますか？	P4
問8	どんな接し方を経験したことがありますか？あてはまるもの全てを選んでください。	P4

■今回の事業に【参加する以前】の、あなたの意識についておたずねします。

問9	あなたは、一般的に「子ども」が好きなほうでしたか？	P4
問10	今回の体験以前に、「子育て」について、あなたはどのようなイメージを持っていましたか？あてはまるものを【3つまで】選んでください。	P5

■家庭を訪問したときのことについておたずねします。

問11	訪問先では、具体的にどのようなことをしましたか？できるだけ具体的に教えてください。	P6
問12	訪問先には何のおもちゃを持参しましたか。どのようなことを考えて選びましたか？また、こどもの反応はどうでしたか？	P10
問13	実際に子どもと接してみて、どのようなことを感じましたか？どんなことでも結構ですので、具体的にお聞かせください。	P14
問14	今回の訪問で、子どもと関わるのは楽しかったですか？	P18
問15	今回の訪問により、あなたの子育てに対する不安は軽減されましたか？	P19
問16	前問でお答えになった内容について、どのような点についてそう思われましたか？どんなことでも結構ですのでお聞かせください。	P19
問17	今回の訪問後に、結婚に対するイメージは変わりましたか？	P23
問18	今後あなたは、子どもと触れ合う機会を増やしたいと思いますか？また、どんなことをしてみたいですか？	P23
問19	今後も、大学生と子育て世帯のマッチング事業を続けていく場合に、どのようなことが必要だと思いますか？今回の経験を踏まえて、要望やご意見などをお聞かせください。	P26

(4) アンケート結果

問1: 子育て家庭を訪問した日付を教えてください。 ……省略

問2: 訪問した時間(家庭にいた時間)を教えてください。 ……平均 2 時間半

問3: 訪問先のお宅のお名前を教えてください。 ……省略

問4: あなたの氏名を入力してください。 ……省略

問5 :あなたが所属する大学名、学部・学科名、学年を教えてください。 ……省略

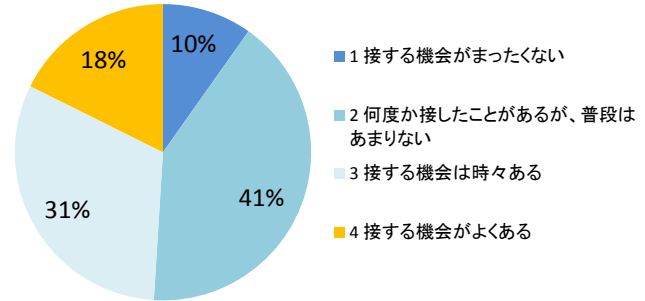
問6 :あなたがこの事業に参加しようと思った理由(動機)は何ですか? 率直にお聞かせください。 ※回答抜粋

- ・子育てと仕事の両立が可能か、働いているお母様から実際にお話を伺い、お子様とどのように関わっているのか知りたかったからです。
- ・赤ちゃんと触れ合うことに興味があり、友達にこのパパ・ママ体験のことを聞き、参加してみたいと思ったからです。去年も参加させていただいて、親子の関わり方や子育ての楽しさを間近体験できる機会がとていいなと思ったからです。
- ・小さい子供が好きだから
- ・楽しそうでぜひやってみたいと感じたから。
- ・友人に誘われて興味を持ったため。
- ・先輩からこの事業を紹介していただき、お話を伺っても楽しそうだったので参加させていただきました。
- ・大学の講義でこの事業について知ったのですが、子どもと触れ合える良い機会になると思い、参加しました。
- ・あーちの方から声をかけて頂いて、今回訪問した家庭の保護者の方と会いました。子どもと触れ合える機会は私にとってめったにないことなので、良い経験になればと思い、参加することにしました。
- ・ボランティアに行っている施設の先生から紹介してもらって、施設によく来てくださるお母さんから「ぜひ家に！」と言ってもらったから。
- ・ボランティア先の方から紹介していただいたことと、単純に子どもが好きだったからです。
- ・ボランティア先の子育て支援ルームかとう GENKi でこの事業があることを知って、興味を持ったからです。
- ・ボランティアステーションでチラシをみて、興味をもったから。
- ・保育園や幼稚園とは違う家庭での子供の様子を見たいと思ったから。
- ・将来的に親子支援に携わりたいと思っており、実際大学でも親子に関わるプログラムに参加しているため、実際の家庭での親子の様子を自分の目で見てみたかったためになります。
- ・先生から1日パパママ体験の話聞いて、現場に出る前に実際に子育てをしているお母さんたちに会えることは私にとって勉強になると感じたため。
- ・授業の一環として 授業で必須の活動として紹介され、興味を持ったから。
- ・昨年、伊藤先生の授業で参加させていただき、今年も神戸新聞社から声をかけていただいたから。
- ・なかなか普段暮らしていて子どもと触れ合う時間がないので、社会に出る前にこうした事業に参加してみたいなと思ったため。

■あなたの普段の行動や意識についておたずねします。

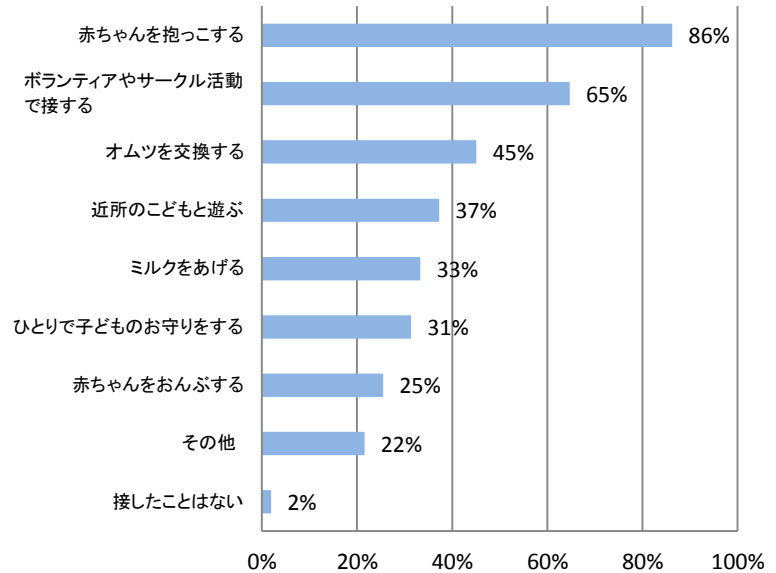
問7 :あなたは、普段、3歳以下の子どもと接する機会がどの程度ありますか？(SA)

	n	%
1 接する機会がまったくない	5	10%
2 何度か接したことがあるが、普段はあまりない	21	41%
3 接する機会は時々ある	16	31%
4 接する機会がよくある	9	18%
全体	51	100%



問8 :どんな接し方を経験したことがありますか？あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

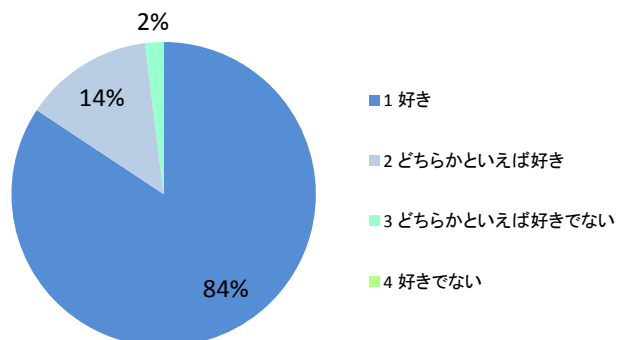
	n	%
赤ちゃんを抱っこする	44	86%
赤ちゃんをおんぶする	13	25%
オムツを交換する	23	45%
ミルクをあげる	17	33%
ひとりで子どものお守りをする	16	31%
近所の子どもと遊ぶ	19	37%
ボランティアやサークル活動で接する	33	65%
その他	11	22%
接したことはない	1	2%



■今回の事業に【参加する以前】の、あなたの意識についておたずねします。

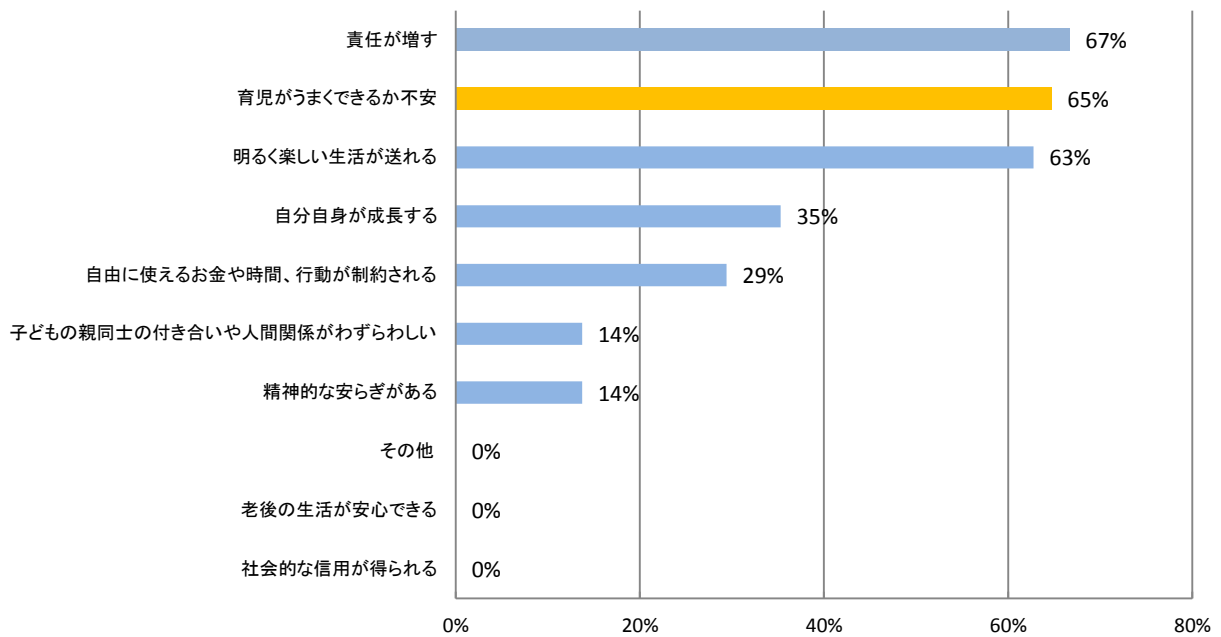
問9 :あなたは、一般的に「子ども」が好きなほうでしたか？(SA)

	n	%
1 好き	43	84%
2 どちらかといえば好き	7	14%
3 どちらかといえば好きでない	1	2%
4 好きでない	0	0%
全体	51	100%



問 10 : 今回の体験以前に、「子育て」について、あなたはどのようなイメージを持っていましたか？
 あてはまるものを【3 つまで】選んでください。(MA)

	n	%
明るく楽しい生活が送れる	32	63%
精神的な安らぎがある	7	14%
責任が増す	34	67%
自分自身が成長する	18	35%
社会的な信用が得られる	0	0%
育児がうまくできるか不安	33	65%
老後の生活が安心できる	0	0%
自由に使えるお金や時間、行動が制約される	15	29%
子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい	7	14%
その他	0	0%



■家庭を訪問したときのことについておたずねします

問 11 : 訪問先では、どのようなことをしましたか？できるだけ具体的に教えてください。

1	子どもと遊んだ。ピアノを弾いたり、輪投げをしたり、モノレールで遊んだ。
2	ブロック遊び、アイスクリームをみんなで食べる
3	プレゼントしたおもちゃで遊んだ。 長女が大好きな抹茶ブッセのおやつと一緒に食べた。 その後の活動では、自宅にあった子ども向け雑誌の付録にあった、ちぎり絵と折り紙をした。 折り紙は、箱を作る予定だったがその過程の四角を折る段階で終わりその形で遊んだ。 ちぎり絵は、花火をモチーフとし付録のカラフルな紙をちぎって遊んだ。最初は違ってテーブルの上に並べるだけだった。しかし、両面テープで画用紙に貼るという発展に繋がり、さらに壁一面に花火のように散りばめながら貼る遊びに発展した。
4	まず、事前におもちゃを選んで用意していたため、そのおもちゃを子どもたちにプレゼントした。そして、そのおもちゃで遊んだ。1つはブリキアのおもちゃだったため、ブリキアごっこのように、どうやって変身するの？などと会話をしながら遊んだ。もう1つはアンパンマンの音の出るおもちゃだったため、一緒に遊び方を確認したり、音を鳴らして遊んだりした。また、絵本を読んだり折り紙をしたりもした。そして、おやつを用意してくれていたため、一緒におやつも食べた。
5	もともと家にあった積み木をしているのを見て、高く積み上げることができたら、子どもと一緒に手を叩いて喜んだ。またプチかくれんぼ(いないいないばあのようなもの)をしたり、一緒におやつを食べたり、持参したおもちゃで遊んだ。
6	家庭にあったおもちゃ(積み木など)や持参したおもちゃを使い一緒に遊んだ。
7	まずお邪魔した時におもちゃを渡したのですがプレゼントしたらすぐおもちゃを開けて喜んでくれたのでおもちゃで少し遊び、お外にお散歩行きたいだったので一緒に外に行く準備をし近くの公園でお散歩して子供が飽きるまですこし歩き 少ししてからお昼の時間なので一緒にパンを買いに行きお家に帰って一緒にいただきました。
8	公園に行って、ボールで遊んだり落ち葉や石を拾ったりしました。それから、一緒にパンを買いに行き、家に帰って食べました。
9	子どもと一緒にチェーンでアクセサリを作ったり、おままごとを一緒にしたりしました。子どもは持参したりボンが気に入ったようで、それを回すのを見たり、やり方を見せてあげたりもしました。お母さんの育児に対する考えや旦那さんの役割分担はどうしているのかなどについてもお話しさせていただきました。
10	持参したおもちゃやご家庭にあるおもちゃで一緒に遊んだ。 また、食事のお世話をさせてもらった。
11	持参したおもちゃで遊んだり、ピアノも弾き、一緒に遊んだ。 また、食事のお世話をさせてもらった。
12	お母様とお子様達が近くまで、迎えに来てくださったので、お会いした時に簡単に自己紹介をしました。家に到着して、リビングでみんなが集合してから、買ってきたおもちゃを並べて、何で遊ぶか提案しました。姉妹それぞれ違うおもちゃに興味を示したので、私はお姉ちゃんと、一緒に行った友達と姉さんと主に関わりました。お姉ちゃんはビーズでネックレスをお父さんと姉さんに作ってあげていました。妹さんは恥ずかしそうに、お父さんやお母さんの膝の上で立体パズルで遊びながら、時折お姉ちゃんの遊びにも興味を示し、一緒に遊びました。最後の方は打ち解けて、全体的に遊べました。
13	まず、持参したおもちゃを渡してそれで遊びました。それから動物パズルや、絵本、車のおもちゃ、ボールをバスケットゴールに入れるなどの遊びをしました。そして、おやつと一緒に食べながら、お母さんからいろいろとお話を聞きました。

14	訪問先では、とりあえず自己紹介を行い、持ってきたおもちゃをプレゼントしました。その後、その持ってきたおもちゃを使って、遊びました。自分達に慣れてきてからは、訪問先にあったおもちゃも使って遊びました。特に音の出るおもちゃを使って遊びました。懐いてくればからは、抱っこなど触れ合う機会を多くいただきました。子育てを行う難しさや楽しさについて、お母さんに教えてもらったりもしました。
15	訪問した時は子どもが泣いていたので、最初は子どもがお母さんに抱っこされた状態で子どもとコミュニケーションをとることからはじめました。名前を呼んだり、持ってきたおもちゃで興味をひきつけたりしました。そうしているうちに、だんだん場の雰囲気にも慣れたのか、子どもが落ち着いてきておもちゃに興味を示すようになり、床に降りて一緒に遊ぶようになりました。床に降りてからは、持参したおもちゃや、家にあるお気に入りのおもちゃを使って遊びました。最後には、抱っこもさせてもらいました。
16	持参したおもちゃを中心にして、ご家庭にあるおもちゃも使って遊んだ。持参したおもちゃを気に入ってくれたようで、たくさん遊んでくれた、また、お母さんが、普段段のようにおもちゃを使って遊んでいるかを教えてくださったので、遊びやすかった。 他に、ごはんを食べさせる体験をさせていただいたり、お母さんにも質問をさせていただいた。話をたくさんしてくださって、子育てをするのが楽しみになった。
17	まずはじめに、買ってきたおもちゃをあげました。ぬいぐるみをあげる、貰うを何度も繰り返し、他のおもちゃでも何度も同じことをしました。次にベアの人と交代して、お母さんのお話をお聞きしました。育児の大変さや楽しさなどたくさん話して頂きました。最後に、おむつ替えをさせていただきました。お子さんはおむつ替えが嫌らしく、わんわん泣いてしまいましたが、なんとかかえることができました。
18	持参したおもちゃを使って、ブロックはめや魚つりゲームをした。また、布団のある部屋で抱きかかえて飛行機ごっこをしたり、録画番組や電車のDVDと一緒に観たりした。家にあったおもちゃでおままごと(ドーナツ屋さんごっこ)をしたり、お医者さんごっこをしたりした。お母さんにおやつを出していただき、子供と一緒に食べた。終盤、子どもがテレビに夢中になっていたのご両親に子育てに関するお話を伺った。
19	持って行ったおもちゃ3種類であそび、その後訪問先の家にあったおもちゃで遊んだ。1時間半後になると、飲み物やお菓子をお母様が出してくださったので、一緒に食べ、長男の子がビデオを見たいと言って聞かなかったので、ビデオも少し見ていた。
20	訪問先では初めて、一緒にテーブルに座ってお茶を飲んだり手遊びをしました。その後ぬいぐるみを使って渡したり受け取ったりの遊びをしました。 隠れん坊のような遊びや、睨めっこが気に入ったみたいで、しきりに顔を突いたりしてるのが楽しそうでした。 最後の方でオムツ替えをしたのですが、それがどうもお気に召さなかったようで、少し泣いてしまいました。オムツ替えは足を通すタイプだったので足を上げさせるのにととても手間取りましたがとても良い経験になりました。
21	4歳の女の子と、2歳の男の子と遊びました。女の子と、プレゼントしたプリキュアのおもちゃを使って遊びました。おままごとの野菜やお菓子も使って、パフェを作る真似をしたり、けん玉もしました。お父さん、お母さんも一緒に、家族みんなでおままごとをしているようでした。お母さんやお父さんとお話しもできました。
22	買ってきたおもちゃで遊んだ
23	はじめに3歳児のお兄ちゃんと買ってきたおもちゃを出して遊んだ。そのあと家にあるプラレールやブロックなどのおもちゃを出して遊んだ。あとからお昼寝を終えた8ヶ月の妹さんもお母さんに抱っこされて部屋に来てくれて、買ってきたおもちゃを渡した。お兄ちゃんには絵本を読んだり、おんぶして遊んだりした。こまめにお茶を飲ませてあげた。お母さんが妹さんに離乳食を食べさせているところを見た。お母さんが元保育士だったので仕事の話や2児の子育てについてお話を聞いた。
24	家にあるおもちゃやもっていったおもちゃで遊んだり、お菓子をあげたりした。
25	自分達が用意したおもちゃと一緒に遊び、マンションで実施されたAEDの研修会に参加した。スカイラウンジへ散歩をしに行った。家に戻って「お母さんといっしょ」を見ながらお昼を食べた。

26	子どもと一緒におもちゃで遊びました。もともと家にあったおもちゃでも、持参したおもちゃでも様々なおもちゃで遊びました。途中子どもが寝てしまった時は、お母さんと子育ての話をして過ごしました。起きたあとは、子どもにお菓子をあげました。
27	お子さんと一緒におもちゃで遊びました。持っていったおもちゃで遊んだり、もともと訪問先にあったままごと道具やお絵かきシート、コキンちゃんのお人形を使い、お子さんが私たちやお母さんに渡してくれたりしました。また、お母さんから普段のお子さんのお話を聞かせていただきました。
28	途中お茶とお菓子を出して頂いたので、お喋りしながら一緒に食べましたが、それ以外の時間はずっと乗り物のおもちゃで遊んでいました。 4歳のお兄ちゃんが遊びを先導してくれたので、それに合わせて建設現場ごっこをしたり消防士ごっこをしたりしました。1才半の弟くんは何かを訴えようとする様子が終始見て取れたので、それに応える形でした。だっこしたりモノを取ったり「お指がはさまっちゃった！大変！」という遊びをしたりしました。
29	子どもと一緒に玩具で遊んだり、絵本を見たりしながら子どもがどのような反応をしているかなど観察しました。マンション内のスペースの所で景色も見ました。昼食も頂きご飯を食べている様子を見ることができました。
30	持って行ったおもちゃや、ご家庭にあったおもちゃで遊んだ。初めは人見知りをしていて、あまり触れ合えずにじっと見つめられていただけだったが、声かけをしているうちに慣れてきたようだった。遊んでいるうちに、言葉数も増えてきて、「どーじょ」と言っておもちゃを渡してくれたり、私がやって見せた遊びを真似するようになったり、「パンマン(アンパンマン)」と指差しをしてこちらを見たりしてくれるようになった。
31	初めは持参したおもちゃを使って、触って音を出したりしてコミュニケーションをとり、更に訪問先のお宅に元々あったおもちゃや遊具で子どもと遊びました。またお母さんに育児の話や今に至るまでの仕事や育休の話など、様々なお話を聞きました。 育児と仕事の両立について気になっていた事を沢山質問できました。また、神戸市には児童館や子育て支援センターが充実しており遊び場も揃っていていかに子育てしやすいかという話も聞き、地域が子育てに深く関わる事も知れました。
32	ほとんどの時間を持参したおもちゃで遊んで過ごしました。初めは緊張した様子で話す声も小さかったりしましたが、一緒におやつを食べたり電車であそんでいるうちに馴染んでくれて、笑顔が増え、自分のことも話すようになってくれました。たくさん電車や乗り物のおもちゃを使って、工事をしたり、火事の火を消したり、救急車で人が運んだり、バスを走らせたりして遊びました。
33	3歳のお姉ちゃんと1歳の弟さんがいらっしゃるご家庭でした。2人ともお昼寝を終えて元気にしていたので、持参した複数のおもちゃを順番に見せて興味を持ったものから使用して遊びました。お姉ちゃんの方は最初人見知りをして隠れていましたが、だんだん打ち解けてくれました。2人がおもちゃの取り合いをしている時は、どうするのが2人とも楽しめるのか難しく思いました。途中2人が走ったりぐるぐる回り続けたりしていて、目を回した弟さんがおもちゃの角にほおをぶつけてすりむいてしまった時は、すごくショックで申し訳なかったです。もともと家にあったおもちゃも使いながら2時間と少し一緒に遊びました。帰り際、お姉ちゃんがどンドン絵本を持ってきて読んでと膝に座っていたので、帰るのがとても名残惜しかったです。
34	家にあったおもちゃや持っていったおもちゃで遊んでいる横で、一緒におもちゃを振ったりして遊びました。またおやつを食べるのを手伝いました。
35	プレゼントをした人形のお弁当セットを使って使い方を教えながら一緒におままごとをしたり、お弁当をくるんで渡したり、人形の洋服と一緒に着せ替えをしたり、プレゼントした絵本の読み聞かせをしたり、訪問先でお茶をいただきながら両親から子育ての楽しさや心配なこと、3月生まれだからこそこの学年と比べた時の発達を聞かせていただいたり、大学で学んでいることなどを話したりした。
36	プレゼントしたねねちゃんのお弁当箱をお子さんがとても気に入ってくださり、お弁当を運んだり、おにぎりに海苔を巻いたり、パクパクとねねちゃんに食べさせてあげたりしました。絵本も一緒に読みました。お母様とお父様と子育てのお話や、お子さんのエピソードなどをお話させていただきました。

37	持参したおもちゃで玉入れゲームをしたり、シールブックでシール遊びをしたり、ボールを転がすおもちゃであそんだり、たこ焼きのおかしを作ったりした。
38	持参したおもちゃ Wammy で遊んだり、訪問先の家庭に元々あるおもちゃ（新幹線や飛行機、車）で遊びました。Wammy では、ボールを作ったり、輪っかを作って王冠にしたりしました。 保護者の方にわからないことを質問したりもしました。
39	子どもと図鑑を見たり、ご家庭にあるおもちゃや持参したおもちゃで遊びました。また、お昼もご一緒させていただき、みんなでお弁当を食べ、楽しい時間を過ごしました。
40	まずは、子どもたちがいつも遊んでいるおもちゃを出してきてくれたので、一緒に遊びました。また、持参したおもちゃでも遊びました。そして、お昼もご一緒させていただき、みんなでお弁当を食べました。
41	家の近くまで行くと、ベランダから「こっちだよー！」と手を振ってくれました。自己紹介をしてから一緒におやつを食べました。その後、あまちゃんのある部屋で訪問先の子どもが好きなブロックで遊んだり、絵本の読み聞かせをしました。最後は外で三輪車で家の周りを散歩したり、バーベキューごっこをして遊びました。
42	まず、一緒におやつを食べた。子どもたちは子ども用のお菓子を食べていた。次にブロックで車などを作ったり、一緒に絵本を見たりした。家の中でいろいろな話をしながら一緒に遊んだ。後半は、外で三輪車や乗用玩具で遊んだ。ごっこ遊びが好きなお兄ちゃんとはいろいろなごっこ遊びをした。弟は年齢が小さかったので、絵本を読んであげたり、音のなるおもちゃを鳴らしてあげたりした。
43	プレゼントとして持っていったおもちゃを使って 1 時間半程度遊びました。部品を組み合わせていくパズルのような積み木のような、ブロックのようなおもちゃでした。1 時間半くらい経ってからは、だいぶん慣れてきてくれたので、お子さんの方から持っている新幹線や電車や飛行機のおもちゃ、プラレールを持ってきてくれて、それを使って遊びました。そのおもちゃの機能をいっぱい教えてくれました。
44	1 歳児のお子さんとアンパンマンのブロックでひっつけたり話したりして遊んだりアンパンマンのタンバリンを鳴らしてどんな音が出るのか試してみたりしました。 また車のおもちゃが進んでいく仕組みを教えてもらいました。
45	買って持って行ったおもちゃや訪問先のご家庭にあったおもちゃで遊んだり絵本を読んだりしました。お子さんがお腹を空くとお母さんがお昼ご飯を用意して食べさせ経験も手伝いました。お昼ご飯が終わりお子さんがお昼寝している間は幼稚園の教員だったお母さんと大学生活や幼稚園の教員について話をしました。
46	家に着いたらおもちゃをプレゼントし、ブロックや合わせ絵カードで遊んだり、絵本を読んだりした。11 時半くらいには、1人で食べる練習中の食事の見守りをした。
47	訪問時には、主に私たちが買っていった玩具で遊びました。その他には、お宅にある絵本をいっしょに読んだり、積み木でおまごごとをしたりしました。また、お宅には、トランポリンがあり、飛んだり跳ねたりするところを私たちが見守りつつ遊びました。
48	最初は、プレゼントしたおもちゃを使い遊びました。4 歳のお姉ちゃんにはプリンセスセットをつけてあげ、2 歳の弟君とは電車のおもちゃで遊びました。お姉ちゃんの方は最初は緊張していましたが、時間が経つともにお気に入りの人形を紹介してくれたり、パズルと一緒にしてくれました。その他にもみんなでおまごごとセットを使いお茶会ごっこなどもしました。
49	訪問をした始めは、私たちがみると人見知りをしてお母さんから離れようとせず、無理に離すと泣いてしまいました。そのため、慣れるまではお母さんとお姉ちゃんと一緒に大好きなテレビ番組やお気に入りのおもちゃで遊びました。その後慣れてきたので、私たちが持ってきたプレゼントを出して遊びました。タンバリンを鳴らしたり、繋がったブロックを外したりしながら、2 時間近く遊びました。

50	アンパンマン組み立て DIY で、おもちゃを組み立てる遊びや、かるたでひらがなの勉強をした。
51	持っていったアンパンマンの飛行船を組み立てるおもちゃで遊んだり、一緒にカルタをしたり、女の子の髪を結んだりした。

**問12 : 訪問先には何のおもちゃを持参しましたか。どのようなことを考えて選びましたか？
また、こどもの反応はどうでしたか？**

1	トーマスのおもちゃ。子どもが楽しく遊べるように考えて選んだ。とても喜んでくれた。
2	トーマス、レール 好きなキャラクター 喜んでた
3	事前に好きなキャラクターを聞いていたため、初めて一緒に遊ぶものとして姉妹の希望に添えるものを選んだ。 3歳の長女には、好きなプリキュアのレインボーリボンを贈った。最近 cm で流れていて欲しがっていたようだった。手で口を塞ぎ目をキラキラさせて驚いたように喜んでくれた。 7ヶ月の次女には好きなアンパンマンのミニボックスを贈った。 アンパンマンに興味をもち、ボタンを懸命に押そうとしていた。 そして2人に向けて、動物の布絵本を贈った。 長女が動物を説明しながら次女に読み聞かせをする姿が印象的であった。
4	おもちゃは、プリキュアのおもちゃとアンパンマンの音の出るおもちゃ、そして絵本を持参した。できるだけ子どもが喜んでくれるように、事前にどんなキャラクターが好きか、どんなものが好きか聞いておいた。そして、その情報にそっておもちゃ選びをした。また、子どもが2人だったため、喧嘩にならないよう平等に1つずつと2人で読める絵本にした。 プリキュアのおもちゃは特に、ほしかったおもちゃだったようでとても喜んでくれたと思う。
5	押してお散歩させるようなアヒルのおもちゃを選んだ。よく手押し車やムカゲを引っ張って散歩させるようなおもちゃで遊んでいる姿を見るし、パタパタと足が回るのがおもしろいと思って選んだ。やはり押すとパタパタと足が回るのが面白かったみたいで、何度もおもちゃを押して遊んだり、私たちやご両親に押ししてもらって正面から見て楽しんでた。
6	棒を持って転がして散歩させるもの。 普段棒のようなもの(ホウキなど)がすきであったため。 夢中になってたくさん遊んでくれた。
7	1歳4ヶ月と聞いていたのでおもちゃに書いてある月齢や発達機能をよくみて1歳くらいは搦んだり音で反応したりブラスをはめたりいろんな形を型の中に入れてたりできる機能性がたくさんついてるおもちゃを選びました！
8	ボールと bruin のおもちゃをプレゼントしました。bruin のおもちゃがお子さんの身長より大きくて、興味津々に近づいて来てくれました。
9	パズルや積み木、ままごとが好きとあったので、それを中心に型はめブロック、スポンジ素材の積み木、ままごとセットを持参しました。また、キラキラが好きとあったので、ホログラム素材のリボンやティアラ、ビーズチェーンも選びました。 お子さんが2人だったので、どれも取り合いにならないように鍋が2つ入ったものを選んだり工夫しました。 どれもお子さんは喜んでくれていました。
10	音楽が好きで、音の鳴るおもちゃで楽しく遊んでいると聞いたので、音の鳴るおもちゃを選んだ。 おもちゃを触ったり、いろんな角度から見てみたり、音を鳴らしたりと興味を示していた。

11	<p>音楽が好きで、音の鳴るおもちゃで遊んでいると聞いていたので、音の鳴るおもちゃを選んだ。</p> <p>おもちゃを見せると興味を示し、音を鳴らしたり、触ったりしていた。</p>
12	<p>立体パズル、ビーズ、キラキラリボン、ティアラ、おままごとセットを持参しました。</p> <p>対象年齢を考慮しながら、お母様に事前に頂いた情報を基に選びました。パズル、キラキラ、可愛い、おままごとのキーワードでみんなで遊べそうなおもちゃや、喧嘩にならないように数にも気をつけました。</p> <p>キラキラリボンに一番ひきつけられていたようにおもいます。リボンを動かすたびにキラキラ光るので、棒を巧みに回しながら、遊んでいました。姉妹に一本ずつ買ったので、取り合うこともなく、自分用にお父さんに印をつけてもらっていました。</p> <p>おままごとは、元々お家にあったキッチンセットや何かの果実も合わせて遊んでいました。</p> <p>立体パズルは妹さんが最初遊んでいて、うまく入らない時は諦めようとしていましたが、お母さんがもうちょっと頑張ってるみようと声をかけるともう一度粘り強く当てはまるころにはめようとしていました。</p> <p>ティアラはお姉ちゃんが最初頭に乗って、お母さんやお父さんから可愛いと褒められて嬉しそうでした。</p>
13	<p>マグフォーマーという三角と四角の形をした磁石のおもちゃを持参しました。事前にこのおもちゃがいいと聞いていました。もう少し大きくなったら図形をつくって遊べるようになるそうです。くっつけて遊んだり、私やお母さんの目に磁石をもって行って眼鏡のようにするのが楽しそうでした。</p>
14	<p>持っていったおもちゃは「いつでも メロディードライバー」というおもちゃです。運転席のようになっていて、色々触るところがあり、面白いおもちゃだと思い選びました。触る場所によって、色々な音がなるので、さらに楽しめるのではないかと考えました。子供の反応は、どンドン触るうちに、楽しんでくれていっている様子で、気に入ってくれたようでした。</p>
15	<p>いろいろな仕掛けがついていて、押したり引っ張ったり横に動かしたりすると、音楽がながれたり光ったりする、ハンドル型のおもちゃを持参しました。8ヶ月のお子さんということで、指の運動がたくさんできるようにしたかったのと、音が流れたら楽しく遊べるかなと思い、選びました。子どもも興味を示してくれ、様々なしかけを楽しんでいる様子でした。</p>
16	<p>柔らかい素材のブロック</p> <p>はいはいをたくさんしてほしいとお母さんがおっしゃっていたので、転がしたりして遊べるようなもので、長く使えるようなものを、と思い選んだ。</p> <p>まだ、ブロックでなにかを作ったりはできないが、私たちが組み立てたブロックをはずす作業に夢中になってくれた。</p>
17	<p>犬のぬいぐるみと知育玩具と1mほどの何度も起き上がる空気を入れるおもちゃです。犬のぬいぐるみは気に入ったらしく、持ち運んで遊んでいました。知育玩具は本来の使い方ではないものの、遊んでくれていました。1mほどのおもちゃは、空気を入れる音にも興味津々で、持ち運んで遊んでくれていました。</p>
18	<p>事前にアンパンマンが好きと聞いていて、以前遊んだ際には複雑なことも出来ているように感じたので1歳の女の子向けにはアンパンマンのブロックはめを選んだ。(穴に合った形のブロックを入れて行くおもちゃ)とても喜んでくれた。難易度的にもちょうど良かったように感じた。5歳の男の子には、電池で動く魚釣りゲームを選んだ。とても夢中になって遊んでいた。複数人で対戦できるタイプだったが、子どもは独り占めして遊びたいようだった。</p>
19	<p>持参した。</p> <p>5歳男の子と2歳前の女の子で、事前に聞いた情報によると、アンパンマンが好きということで、女の子用にアンパンマンの立体パズル、男の子と一緒に遊べるように魚釣り、2人とも使えるようにサンドバックを買った。</p> <p>全て割と喜んでもらった</p>
20	<p>持って言ったのは犬のぬいぐるみと知育玩具、イルカのビニール風船です。犬のぬいぐるみは年齢を考慮して柔らかく肌触りの良いものをと、知育玩具はそれまでの遊びの中でボタンを押したりするのが好きだったので、イルカは今後の運動の発達を想像して選びました。</p> <p>やはり、犬のぬいぐるみがきにいってくれたみたいで、ずっと抱きしめてたのが印象的でした。</p>

21	プリキュアの、歌が流れたりミニゲームができたりする泡立て器のようなおもちゃと、アンパンマンのカップが10個はいった重ねられるおもちゃを持参しました。子どもが今好きなものと、家にあるものではないものというのを考えて購入しました。2人ともとても喜んでくれて、ずっと持って遊んでくれました。
22	プリキュアとアンパンマンのおもちゃを子供が好きなのをそれを持参した。こどもは喜んでくれた
23	3歳児のお兄ちゃんには、ディズニーのキャラクターが描かれた、坂をボールがコロコロくだっていくおもちゃを持参した。子育て支援センターで遊んでいたとき、そのようなおもちゃに興味を示していたのでそのおもちゃを選んだ。とても喜んで何度も繰り返し遊んでくれた。8ヶ月の妹さんにはカラカラ音がなったりカミカミできるようなおもちゃを2つ持参した。どちらも気に入って握っていた。
24	回すとカラカラと音がするおもちゃとラッパを持参した。10ヶ月の子もだったので、音がするものの方が興味をもてるかなと思ったことと、自分で手を動かしたり、息を吹いたりする楽しさを感じながら遊んで欲しいと思い、選んだ。こどもはとても喜んで、興味津々に遊んでいた。
25	たいこなどいろんな音が鳴るおもちゃと、簡易的なポットン落としを用意した。子どもが大人になっても楽しく遊んでくれるおもちゃを考えた。子どもが楽しく遊んでくれて、とても嬉しかった。
26	1つ目は、部品を回したら音がなったり、光ったりするおもちゃを買いました。理由は、施設でその子を見た時に音がなるおもちゃで良く遊んでいたの、音がでるのが良いと思いました。もう1つは、息を吸っても吐いても音がなるラッパです。それは、ちょうどできるようになる年齢だと思ったからです。
27	ボールを転がすコースターと小型ピアノを持参しました。1歳半ということで、遊び方が単純で子どもの少しの働きかけで遊べるもののように考えて選びました。お兄さんはコースターの方はとても気に入ってずっと遊んでいましたが、ピアノの方はすぐにひっくり返してしまいました。コースターの方でボールを振ると音がでるのを楽しんでいましたが、ピアノで触ったときに出る音にあまり興味を示してくれなかったのなぜだったのか不思議に思いました。
28	音と光の出る建設現場の乗り物(自動車や小さいショベルカー等のセット)の玩具と、パンダの大きなぬいぐるみを買いました。乗り物が好きな4歳のお兄ちゃんと、動物が好きな1才半の弟くんがいらっしやるという事でしたので、それぞれに合ったものになりました。お兄ちゃんにはプラレールやトーマスのおもちゃも考えましたが、家に無さそうな玩具にしようとして建設現場のものを選びました。
29	1つは音の出る絵本、2つは穴通しを持参しました。棒で太鼓を叩くと音が出て驚いた様子もあり笑顔も見えました穴通しは難しそうにしていたが入れることができた時は嬉しそうにしており、何度も挑戦していました。
30	ボールを乗せるとくるくると回転しながら落ちていくおもちゃと、木琴とピアノが合わさったようなおもちゃ。ボールを乗せるおもちゃはとても気に入っていて、何度も何度も繰り返し遊んでいた。木琴のおもちゃの方は、扱うのがまだ難しかったようで、鳴らすのではなくひっくり返すのを繰り返していた。 選ぶ際は、1歳4ヶ月なので絵本などよりも、触ったときの手応えが感じられるようなものの方がいいということを考慮した。
31	炒める音や煮る音などが出るフライパンとお鍋のセットで、野菜をイメージした入れ物を穴に当てはめることもできるおもちゃと、鍵盤を押すとドレミの音や音楽、更にスイッチを切り替えると英語の音声にもなり英語にも触れられるおもちゃを持参しました。触って音が出るおもちゃが好きとの事だったので、それを意識して選びました。実際にボタンや鍵盤を何度も押して遊んでくれました。
32	パンダのぬいぐるみと、電車・工事現場の車・レールがセットになったおもちゃを持参しました。弟さんが動物のぬいぐるみが好きなのですが、当日も持参したぬいぐるみをぎゅっと抱きしめ嬉しそうな顔をしていました。お兄さんは乗り物が好きなので、色んな働く乗り物を知ってほしいという思いから選びました。飽きることなくずっと電車をレールの上で走らせていました。

33	大きな犬のぬいぐるみと、木製のブロックパズル、いろんな形の穴に積み木を通すおもちゃ、タンバリンを買って行きました。お姉ちゃんがあちで人形遊びを楽しそうにしていたことから、人形かぬいぐるみを1つ買おうとなり、予算との兼ね合いも考えて選びました。2人とも抱きついたり、車と一緒に乗せて走ったりしてとても喜んでくれました。タンバリンはまだ1歳の弟さんでも簡単に楽しめるものを、と思い選びました。パズルはやってみたら少し難しく、2人には少し早かったかなという感じです。積み木は2人とも楽しめるおもちゃを、と思い選びましたが、取り合いをするぐらい気に入ってくれたようです。
34	おもちゃの携帯、車のおもちゃ、ボールが上から下へ転がるおもちゃ 携帯のおもちゃは音が出るのがすごく気に入ってくれました。ボールは、転がることよりも鈴が入った音になるボール自体に興味を持ってくれました。
35	人形の洋服が欲しいということと、かさばらないことを、事前に聞いていたので、人形のドレスとリボンと靴がセットになったものと、自分たちの経験から2歳児の女の子はおままごとが大好きだろうということで同じ人形のお弁当セットと、残りの予算内に収まり、女の子が好きそうでこれからは長く読めるような絵本をプレゼントをした。お弁当セットを大変気に入っていて、訪問中ずっとフォークやスプーンで掘んだり、包んで持ち歩いたりしていた。
36	ねねちゃんドレスとお弁当セット:保護者の方からねねちゃんを使って遊んでらっしゃるとお聞きしたので、お洋服と、遊びの幅が広がると思いお弁当セットを選びました。訪問中はずっとお弁当セットで遊んでいて、ハートの玉子焼きやおにぎりの具をフォークに刺したりしながら、ねねちゃんにどうぞとして遊んでいました。
37	「しかけのないしかけえほん」という絵本とアンパンマンの玉入れゲームのおもちゃを持参した。玉入れゲームは二人で遊べるので良いと思って選んだ。二人とも喜んで夢中で遊んでくれた。
38	Wammyを持参しました。 ボランティア先でWammyで遊んでいるのを見たことがあったのと、お父さんやお母さんも一緒に楽しめると思ったからです。 包みを開けてみるとWammyだとわかったようで、嬉しそうに袋から出していました。とびきりの笑顔を見せてくれました。
39	スティッキーというおもちゃを持参しました。 年齢問わず、幅広く遊べるものが良いと聞いていたので、簡単すぎずみんなで楽しめるものを選んで選びました。 みんなでゲームをし、楽しみました。また、違う遊び方を考える姿も見られました。
40	スティッキーを持参しました。 兄弟がおり、上の子どもたちが主に遊べるおもちゃが良いと聞いていたので、単純だけれどハラハラみんなで楽しめるようにと考え選びました。
41	訪問先には木でできたクルマのおもちゃと「ぺんぎんたいそう」の絵本を持参しました。訪問先の子どもが車が好きと聞いたので、兄弟2人とも遊べそうなクルマのおもちゃを選びました。また、遊ばなくなっても思い出として部屋に飾れるデザインのクルマのを選びました。クルマを箱から出してすぐに手にとってくれ、嬉しそうでした。絵本は一緒に身体を動かせるものにしよと思い、ぺんぎんたいそうを選びました。絵本は読み聞かせをしながら、一緒にぺんぎんたいそうをしました。少し照れていましたが、一生懸命ぺんぎんになりきって楽しそうに体を動かしていました。
42	絵本と車のおもちゃを持参した。子ども年齢を考えながらおもちゃを選んだ。絵本は、見て、一緒に動いて楽しめるものを選んだ。車は、素材も考えて選んだ。絵本も車も子どもたちは喜んでくれた。絵本は、読んであげると、一緒に体を動かして楽しんでた。車は、弟がすぐに口に入れて遊んでいた。
43	組み合わせしていく平面状のブロックのようなものおもちゃを持参しました。このおもちゃは訪問先の保護者の方からリクエストされたもので、子育て支援ルームにあるので遊んでいた時に面白かったからとっておられました。子どもの反応は、最初は組み合わせ方が難しく、苦戦していましたが、私たちがペンギンやイルカなどの形を作ると喜んでそれを使って遊び始めました。自分で組み合わせられるようになってからは、帽子に見立てたものを作って自分で被ってみたり、私たちにかぶせてみたりして遊んでいました。

44	アンパンマンのイラストが描かれたブロックとタンバリンを持参しました。 反応は最初は不思議がっていて眺めているだけでしたが、仕組みに気づいてから自分から手に取って遊んでいました。
45	お子さんが1歳4ヶ月ということだったので、口に入れても喉に詰まらないサイズのブロックと動物の名前を英語と絵を使って学べるカードを買いました。5歳まで使える対象年齢が幅広いブロックならば兄弟ができて使えるしそのおもちゃをながいことつかえらびました。
46	ブロックは、1歳～5歳と適応年齢が幅広く、たくさんあっても使えるから。絵合わせカードは、脳の発達にもつながるため。長時間、同じおもちゃで遊ぶことは無かったが、興味を示してくれた。絵合わせカードではパンダに強く反応した。
47	2歳4ヶ月の男の子は、電車が好きとお聞きしたので、水陸両用の引っ張ると走る電車の玩具を持参しました。電車を見た瞬間に、「あ！電車だ！」と、とても喜んで頂きました。4歳8ヶ月の女の子は、キラキラした物が好きとお聞きしたので、紫色の玩具のネックレスや指輪が入った物を持参しました。
48	事前に、お姉ちゃんキラキラした物、弟君は電車が好きだと伺っていたので、お姉ちゃんにはプリンセスセット、弟君には電車のおもちゃをプレゼントしました。あとは2人で使える物と思い、お風呂のおもちゃセットをプレゼントしました。2人も喜んでくれ、直ぐにおもちゃで遊んでくれました。
49	アンパンマンのタンバリンとブロックをプレゼントしました。年齢の発達段階を考えて、参加する先輩と一緒に選びました。 とても、楽しそうに笑顔で遊んでくれました。私たちも、そのような姿を見れて嬉しいかったです。特に、ブロックの箱の蓋を開けたり閉めたり出来るまで、一生懸命に頑張っていたのが印象的でした。
50	こどもがアンパンマンとプリキュアが好きだと伺ったので、その2つのおもちゃを買った。こどもは2人兄弟だったので、喧嘩しないようにそれぞれ宛の一つずつ買うことを意識した。とても喜んですぐに開けていたが、2人もアンパンマンの方を最初に気に入ったみたいで、取り合いになってしまった。
51	アンパンマンの飛行船を組み立てるおもちゃとプリキュアのカルタを持っていった。訪問先のお母様から事前にお子さんがどんなものか聞いて選んだ。欲しかったものらしくとても喜んでくれた。

**問13 :実際に子どもと接してみて、どのようなことを感じましたか？
どんなことでも結構ですので、具体的にお聞かせください。**

1	ますます子どもが好きになった。
2	自分から積極的に話しかけたりする
3	折り紙をした時に、完成形ではなくそれまでの過程の折り方に興味を示していた。私はただ、完成の形になるまでの行程としてしか見ていなかった。このため子どもにとっては完成することがゴールではないのだと新しい考えが生まれた。 7ヶ月の子はお座りの練習中でその様子が人魚のような格好でとても可愛かった。 遊ぶ中でどんどんと距離が縮まった気がした。 やはり小さい子は可愛いと感じ、改めて幼児教育の道に進みたいと思った。
4	実際に子どもたちと関わってみて、可愛いなと思った。はじめは、仲良くできるのか、一緒に遊んでくれるのかという、緊張と不安があった。しかし、勇気を出して喋りかけることで、ニコニコ楽しそうに遊んでくれた。そして、絵本読もう、折り紙したい、と自分から話しかけてきてくれてとても嬉しく、すごく可愛いなと思った。

5	よく来てくださる施設でも元気な姿を見せてくれるが、やはり家のほうがよく慣れているのもあって、より安心して遊べていたと思うし、感情表現もより豊かだったように思う。やはり、子どもにとって保護者の存在は大きなものであるなと感じたし、よりたくさんの人に褒めてもらえるほうが本人も嬉しそうだった。子どもがいるだけで家庭内の雰囲気が明るくなるな、と思った。
6	とても笑顔で接してくれ、積み木を積むことができた喜びやできなかった悲しみなど、いろいろな感情を共有することができてよかった。
7	とっても可愛かったです。一緒に遊んでいて自分が笑ったりびっくりした顔で子供の目線に立って会話したり遊んだら一緒に笑ってくれたり子供の目線に立つ事って大事なんだなと感じました。自分が立ったまま子供の名前を呼ぶのと目線に立って名前を呼ぶのと反応が全然違うくて上から呼んだら見上げてくれるけど目線の時は微笑んでくれたり体験してそれを初めて気づきました
8	食べているだけなのに可愛くてずっと見てられる。けどまだヨチヨチ歩きなのでこけそうになることがあって見ていて少し怖かった。
9	同じ両親から生まれた子たちで性別も同じであるのに、お姉ちゃんの方がものわかりがよく積極性がある、妹の方はマイペースで恥ずかしがりであったりと、全然性格が違うことを改めて体感することになりました。 わたしはほんの2時間半くらい一緒にいただけですが、子どものパワフルさについていくのは結構大変だったので、24時間365日一緒に過ごすお母さんは本当に大変だろうなと実感しました。
10	何でも興味を示す時期だと感じた。 感情表現・表情が豊かであると感じた。
11	感情表現や表情が豊かであると感じた。
12	単純に子どもが可愛いと思いました。 今回のご家庭が、二人姉妹だったので、姉妹それぞれに全く異なる性格があるのだなと思いました。一方で影響し合うところもあることに気づきました。子育てをする時は一人一人の性格に合わせて叱ったり、褒めたりすることが必要だと気づきました。 遊んでる途中で、お母様が電池の入った瓶が割れてしまい、それを捨てようとしている場面があり、子どもはそれを気に入りのおもちゃとして遊んでいたの、捨てられると思い、泣きそうになっていました。おもちゃ一つ捨てるのが子どもにとっては悲しいことで、大事に使ってたんだと思いました。大人にとっては大したものではなくても、子どもにとっては違うんだと気づきました。
13	とにかく子どもがかわいいと感じました。会ったときからずっと笑顔でいてくれました。また、パズルをはめたり、ボールをバスケットゴールに入れたり、一つ一つの動作のあとに自分で拍手をしてうれしそうにする姿が印象的でした。
14	子どもと接してみて、仲良くなるには時間かかると感じました。訪問した時、最初の方なかなか心をひらいてくれず、泣かれたりしました。しかし、時間が経つと、慣れてきて、笑顔を見せてくれたり、近づいてきたりしてくれました。最後には抱っこさせてくれたりと、仲良くなるのは難しいなと感じました。
15	普段小さい子どもと触れ合う機会がないので、とても貴重な経験でした。最初は泣いていたのでどうすればいいか分からなかったのですが、おもちゃに興味を示してくれたときは本当に嬉しかったです。8ヶ月なので、言葉を発することはあまりできないけど、表情や体の動きなどから楽しそうにしている様子が見れて良かったです。こんなにも感情を表現しているのだなと思いました。
16	まだ生まれて10カ月しかたっていない赤ちゃんでも、すぐにたくさんのことを吸収する姿がすごいと思った。 そしてやはり子どもは無条件に可愛いな、と感じた。
17	やはり子どもはお母さんが1番なのだなと感じました。どれだけ楽しそうに私たちと遊んでいても、お母さんの姿が見えなくなると、すぐに不安がり、探しに行こうとしました。私自身の力不足も同時に感じました。また、今回私たちは一回きりなので終始かわいいという感情でしたが、これが何年も続くとなると、お母さんも大変だと思いました。
18	子どもの方からたくさん関わってきてくれるが、それに応えてあげても応えたことについての反応はみられないことが多々あった。おもちゃの本来の遊び方に飽きたら自分でオリジナルの遊び方を作り出すことができている、工夫ができるのだなと感じた。もっと人見知りされたり泣かれたりするかと思ったが、そんな心配はなく明るく接してもらえて、社交性が高いなと感じた。

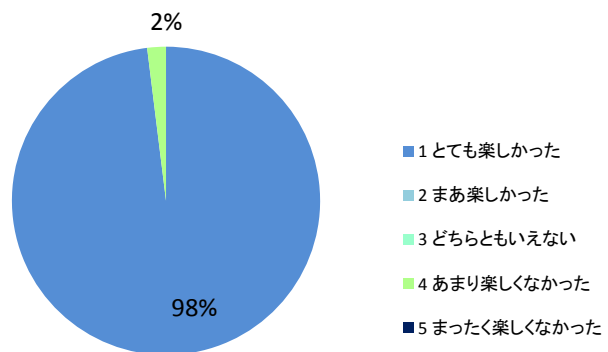
19	<p>五歳の子が特に、これは自分が貰ったんだという意識が強く、妹が遊ぶのをやめさせたりしていた。</p> <p>下の子は上の子の真似をすることが多かった。</p> <p>同じ事をして繰り返し遊んでいた。</p>
20	<p>やっぱり子どもっておもしろいと思いました。おもちゃを持つ場所の拘りや自分なりのやり方を持っているというのがとても可愛らしく、同時にまるで大人のような感じでした。また、大人がやることや大人の使っているものを何でもやりたがったり欲しがったりするのも可愛いなと思いました。</p>
21	<p>子どもって本当に可愛いな、と思いました。たまに小学生くらいの子ともとは遊ぶのですが、この歳の子ともとは普段接することがないので新鮮でした。きょうだいでおもちゃを取り合って少し拗ねてもすぐ仲直りしていたり、どっちかがやっているとそれをやりたくなったり、ということが自分の経験にもあったなあと懐かしく感じました。とてもステキな家族だな、と思いました。</p>
22	<p>こどもは純粋だと思った</p>
23	<p>ボールをころころ転がしたり、プラレールをはしらせたり、同じ作業を何度も繰り返すような遊びもとても喜んでやっていて、笑顔がとても可愛かった。こちらが声をかけると同じことばを繰り返したり、上手にできたときに満足そうにこちらを見てくれたりしたので、ひとりで遊ぶのではなく他の人と一緒に遊ぶことで子どもの自己肯定感も育つのだと感じた。</p>
24	<p>何でもすぐに口に入れて食べようとするので、目を離すことができず大変だと思った。また、少しのことでも出来るようになっていく姿を見るのが楽しくて、育児は大変なこと多いがその分毎日の楽しみも増えるなど感じた。</p>
25	<p>子どもは興味を持つ対象がよく変わることがあると感じた。</p> <p>子どもの視線に立って関わってあげると子どもも安心して関わってきてくれるとおもう。</p>
26	<p>率直に子どもがかわいくて、幸せな楽しい時間を過ごせました。しかし、慣れていないことや、一時も目を離せないという緊張感があつたからか、3時間遊んだだけで、疲れてしまいました。</p>
27	<p>最初は人見知りしていましたが、馴れてくると声を出したり笑いかけてくれたりするのが嬉しかったです。</p> <p>また、お母さんが近くにいることがとても大切なのだと感じました。お母さんが離れてしまうとすぐに不安そうな顔をしていたからです。</p>
28	<p>弟くんはお兄ちゃんが大好きで、お兄ちゃんも弟くんにとっても優しくあつたのが印象的でした。玩具をもらうとすぐお母様に報告に行ったり等、家族みんなの仲の良さが伺えました。</p> <p>4歳になると遊びの幅も広がり、ごっこ遊びができていました。</p>
29	<p>家庭での訪問は初めてで、持参した玩具も喜んでくれるのか不安でした。しかし、人見知りもなく、持参した玩具でも楽しそうに遊んでいる姿を見ることができとても嬉しく感じました。</p>
30	<p>改めて子どもはかわいいと思った。ときどきお母さんの方を向いたり、お母さんに甘えたりして、それに応えてもらうととても嬉しそうにしているのが愛らしかった。子育ては夜中などでとにかくつらい、というイメージがあつたが、子育ての明るい面も見られたと思った。</p>
31	<p>行く前は子どもさんがまだ言葉は話せないためコミュニケーションが一方方向になる事を心配していましたが、ずっと顔を見ながら物のやりとりなどをすることでこちらの話しかけに表情や簡単な言葉で応えてくれるようになりだんだん心を許してくれたように感じました。また、これまでただ可愛いという面しか見ていませんでしたが、言葉をまだ話せない子どもと1日向き合うのは確かに大変だという事も実感しました。</p>
32	<p>子どもの笑顔は正義だなと思いました。もともと子どもが好きなので、子どもと遊んだり子どものために何かをすることは得意でしたが、改めて、子どもの笑顔のためになる何かをしたいと思いました。初対面の私たちも楽しく遊んでくれて、また来てほしいとまで言ってくれる子どもが愛しくて仕方ないです。</p>

33	<p>姉弟の関係性が面白いなということです。お姉ちゃんが持っているおもちゃを弟さんがとるとお姉ちゃんは怒って奪い返します。弟さんが使っているおもちゃもお姉ちゃんが奪い取ります。3歳のお姉ちゃんはこの時期は、自分のものは自分のもの、人のものも自分のものという意識なんだろうなと思います。面白いのが、おもちゃを全部取られた弟さんはなくでもなくけろっとしていて、悟ったような顔をして他のもので遊んでいるところです。加えて、お姉ちゃんが走り出せば走り出し、回り出せば回りだし、叫び出せば叫び出し。やっぱり下の子にとっては上の子がお手本なんだろうなと思いました。</p>
34	<p>おもちゃをはいって渡したら、それで遊んでくれたりはしたが、自分がいることで何かその子の遊びが変わることはないのでも働きかけたら良いかが難しかった。</p>
35	<p>自分が普段保育園で接している2歳児と比較して、人見知りがなく、言葉がすぐ出ているなど感じた。また、その子どもは保育園に週1、2回通っているということで、まだ親以外との遊びでの関わり方というのが少ないため、一緒にがっつき関わるままとするのはしなかった。</p>
36	<p>ご家庭でのお子さんの様子を自分が中に入って子守する機会はないので、お母さんとお父さんに見守られながら、安心して生き生きと遊ぶ姿が印象的でした。何度も何度も飽きずにお弁当で遊び、おしゃべりしてくれてとても可愛かったです。</p>
37	<p>とにかくかわいくて、もっともっと一緒に遊んでいたいと思った。</p>
38	<p>訪問するまでに何度も遊んだことがあるのに、いつもと場所が違うからか、私たちを見て固まって驚いている様子でした。慣れてくると、笑顔が増え、一緒に楽しく遊べたのでホッとしました。</p> <p>子どもの笑顔を見ると、私も自然と笑顔になりました。子育てで大変なことたくさんあると思うけれど、子どもの言葉や笑顔でそんなことも癒されているのかなと思いました。</p> <p>ボランティア先とはまた違う、家庭でのいろいろな表情が見れて良かったです。</p>
39	<p>実際に、子どもと遊んだり、お母さんと子どもの関わりを間近でミルことができ、子育ての大変さと子どもと過ごす時間の楽しさの両方を感じることができました。</p>
40	<p>初めは恥ずかしそうにしていたが、自分たちのおもちゃを見せてくれたときの子どもたちの無邪気な笑顔に私まで笑顔になり子どもたちのパワーのすごさを感じました。</p> <p>また、1歳児の子どもは、人見知りでなかなか一緒に遊ぶことができなかったが、慣れてくるとたくさん遊ぶことができ、とても嬉しく思いました。</p>
41	<p>好きなものについて大学生の私たちが驚くほど詳しく知っていて、興味のあるものへの関心の高さを感じました。これは〇〇なんだよ！と教えてくれ、自分のことを伝えようとしていました。これは普段からお母さんが子どもに対して気持ちを聞いているからだと思いました。</p>
42	<p>人見知りをせず、いろいろと子どもの方から話しかけてくれたので接しやすかった。ブロックで遊んでいたときに、子どもの発想力や創造力に驚いた。私たちでは思いつかないような作品を作っていた。また絵本を見ているときに、車やトーマスの名前をたくさん覚えていて凄いなと思った。子どもの記憶力がどれくらいなのか、知りたいと思った。</p>
43	<p>いつもは子育て支援ルームで会う人がおうちに来たということで最初は人見知りをしてあまり話してくれませんでした。反応も薄くどうしようかと思っていたが、1時間ほどしてお兄ちゃんが帰ってくると、さっきまでの人見知りはなんだったのかと思うほどわっーと話だし、ひつついてきたら抱っこを求めてきたりと一気に人見知りがなくなりました。兄弟のようないつも遊んでいる人がいるだけで安心していつもの自分が出せるようになるのだなと感じました。</p>

44	<p>1歳になったばかりの子だったのであまりうまく話すことができず喃語だったのですがしゃべりかけてあげるとちゃんと言葉を理解しているようで言葉に合わせて体を動かしているのがかわいらしかったです。</p> <p>普段わかっているけどまだ伝えられない子と接する機会がなかったので楽しかったです。</p>
45	<p>とても感情豊かなよく笑うお子さんでした。</p> <p>とても可愛らしくて愛らしかったです。</p> <p>しかし、まだお母さんから離れることが難しい年頃なためお家の中でもお母さんの姿を確認しながら過ごしていました。</p>
46	<p>リモコンを操作する子どもの姿を見て、1歳のときから、このリモコンを押すことで電気がついたり消えたりすることを理解しているんだなと思った。音が鳴るおもちゃが好きな子であった。表情豊かでたくさん笑ってくれて嬉しかった。</p>
47	<p>実際に幼児期の子どもと接する機会が無いので、とても貴重な体験でした。自分が感じた事は、やはり実際に触れ合ってみて子どもについて学ぶのは普段勉強するのとは、まったく違うという事でした。実際に触れ合ってみると、気付く事はたくさんあって、とても勉強になりました。また機会がある時に、ぜひ参加したいと思いました。</p>
48	<p>実際に子どもと接してみて、やっぱり子どもは可愛いと感じました。部分的に関わるのと育児をするのでは子どもへの気持ちは違うのかもかもしれませんが、今回の体験では子どもと関われるのが楽しい事だと改めて感じました。</p>
49	<p>以前、お子さんと1度遊んだ時がありました。その時はまだ、立ったりハイハイしたりしていました。今回訪問した時は、元気に歩いたりタンバリンもちょっときこちない感じでしたが上手に叩けていて子どもって成長するのがはやいんだと感じました。とても可愛かったです。</p>
50	<p>子どもが嬉しそうに笑ったり、寄ってきてくれると、とても幸せな気持ちになった。</p>
51	<p>本当に可愛くて仕方がなかった。この体験をするまでは子どもとの距離を縮められるかどうか少し不安に思っていたけれど、ずっとにこにこ笑っている子どもたちを見てもっと笑顔になってほしいー！と体験中ずっと思っていて、本当に楽しかった。</p>

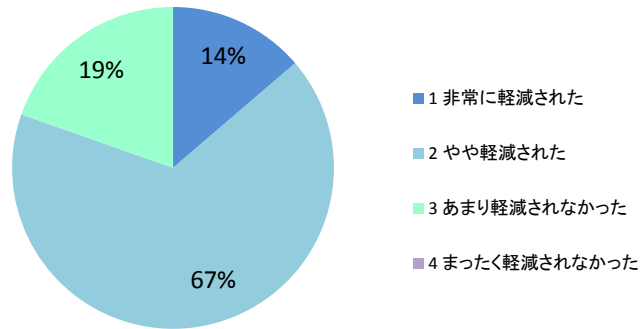
問 14 : 今回の訪問で、子どもと関わるのは楽しかったですか？ (SA)

	n	%
1 とても楽しかった	50	98%
2 まあ楽しかった	0	0%
3 どちらともいえない	0	0%
4 あまり楽しくなかった	1	2%
5 まったく楽しくなかった	0	0%
全体	51	100%



問 15 : 今回の訪問により、あなたの子育てに対する不安は軽減されましたか？(SA)

	n	%
1 非常に軽減された	7	14%
2 やや軽減された	34	67%
3 あまり軽減されなかった	10	19%
4 まったく軽減されなかった	0	0%
全体	51	100%



**問16 : 前問でお答えになった内容について、どのような点についてそう思われましたか？
どんなことでも結構ですでお聞かせください。**

軽減されたと回答した理由

1	体験させていただいた家庭では3歳の長女と8カ月の次女がいた。その中で、長女が次女にいたずらをするとお母さんが悩んでいた。しかし、そんな悩みの中にも、この子はオムツが早く取れたからと楽しそうにお話するお母さんの姿もあった。そのため、子育ては大変なことも多いが、それがやりがいであり、楽しいこともたくさんあるんだと、子育てに対しての不安は軽減しました。
2	子どもは予想外のことをすることがよくあるということが分かったので、それで普通なんだ、焦らなくていいんだと気持ちに余裕を持つことが大切で柔軟に対応するのが良いことが分かったから。
3	お母さんのお話を聞いていて、初めて子育てをする上で不安や孤独感があつたそうなんですけど少し悩みがあればどうしたらいいんだろって考え本を買って勉強してみたり子供の成長していくのを見て不安より喜びや楽しいって感じがありますと言って子育てって大変だけど大変な事ばかりではないんだと思いました。
4	家事と育児の両立は難しいと思うが、子どもが癒しになってくれると感ずることができた。
5	お母さんもお子さんの話を聞く機会があつて子どもがいるのは毎日楽しいよとか発見があるっていうのを仰っていて未来への不安よりも今の瞬間を大事にしていけば怖いことなんてないんだと感ずいたからです。
6	自分の親から、育児の辛かったことを良くききますが、今回他の家庭におじゃまさせていただいて、お母さんもお子さんも幸せそうにみえたと言う点からそう思いました。
7	自分自身、小学校入学前後から親に気を使うようになってしまつて、自由に発言したり行動したりということができなくなつていった、親とうまく話せなかつた、という経験があつたので、自分も将来そんな親子関係を築いてしまうのではないかと不安があつたのですが、今回自分の子どもではない子たちに対してとても愛情を持てたと自分で感ずいたので、将来自分に子どもができればもっと愛したいなと思つました。
8	子どもと遊ぶのは楽しいし、子どもの成長していく姿をもっと見てみたいと思つた。
9	まず、母親の「子育ては楽しい」という一言である。 妹が生まれてから姉に怒ることが増えてしまい、精神的に負担をかけている部分もあると話してくれた。

10	大変なことばかり想像していたが、成長を見ることができるのは嬉しいものだなと思った。
11	お子さんと2人のときはご飯の準備や片付けをする時ビデオを流しておくなど子育てと家事の両立について詳しく聞けた。
12	働きながらでも育児をしっかりとできており、仕事と育児両方をバランスよくこなすことができるということを知ることができたので、将来働きたいと思っているわたしにとってはとても勇気づけられるお話でした。
13	食事や子育て環境など具体的なことが知れたから。
14	子育てについて具体的なことがわかったから。
15	保護者の方は仕事をしながら、子育てをされているお母様でしたので、実際に両立することは可能なのか、何が大変なのかを聞くことができ、具体的なイメージを持ってました。 母親にも一人の時間は必要で、保育園に預けてる時にホッとできたという話は何でも一人で抱え込むと負担で生活が窮屈になってしまうのかと思い、自分が親になった時も少くらい一人の時間を作ってもいいのかなと楽になりました。 地域の子育て支援を利用して、ママ友などの横のつながりを持つことの大切さも教えて頂きました。
16	お母さん自身がひとりっ子だったこと、また、旦那さんがお休みが不規則な仕事をしていらっしゃるということで、里帰りをした後、本当に1人で育児をしながら家事もできるのか不安だったそうです。でもいざやってみるとなんとかなったと聞いて不安が軽くなりました。
17	赤ちゃんと触れ合いの機会をいただいたことで、赤ちゃんへの接し方を学べたという点で少し不安は軽減されました。またお母さんの子育てのお話をきき、軽減された面もあります。しかし、逆に大変さもきき、まだ少し不安も残っている点でやや軽減されたにしました。
18	赤ちゃんと2人きりで自宅にいることに対して不安があったが、訪問家庭のお母さんが、さまざまな所に出かけてたくさんの方のアドバイスやお話を聞いたりしながら子育てをされていた点。
19	子どもにとって安全な家具の置き方など、気づけるポイントが多々あったので、少しながらも知識が増えたと思うからです。また、子どもが喜ぶこと嫌がること、好きなこと嫌いなことがなんとなく理解できたので、将来はこの経験を活かして子育てできそうだと思います。
20	もともと、育児なんて不安なことが多いものであるし、実際育てるまでわからないとおもったから。 また、今回の訪問先の上の子が障害を軽く持っていたので、自分がきかれることのほうが多かったから。
21	子どものことについては、学校で学んだりこれから先生になるので沢山知ることになりますが、お母さん方がどう思っているのかということについては知らない事が多いということを知れたからです。例えば長時間一対一と考えると確かに大変だと思うし、その上で家事をするとなると凄い負担だと感じました。
22	とにかく家族の仲が良さそうで、見ていてこんな風に支えあっていたら、トラブルがあっても乗り越えられるんだろうな、と感じました。また、子どもがおもちゃの取り合いになった時、一回一回仲裁していたら大変だろうな、と思ったのですが、基本は子ども同士でなんとかさせていると聞いて、自分だったらどうしようという参考になりました。
23	兄弟の場合だとおもちゃの取り合いをしたり、上の子が強く叩いたりしてしまったりなど、それぞれいろいろなものに興味を持って自己主張も出てくるとけんかが起こるので大変そうだった。でも、やはり子どもは可愛いし、お母さんは気負わず子育てを楽しんでいるようにみえた。他の子育てで家庭とのつながりがあるのも良いことだと思った。
24	子どもから目を離せず、さらにご飯を作ったり、その他の家事もこなさないといけないという点が大変そうだなと感じました。

25	<p>どんな親も子育てに不安ながらも、一生懸命に頑張っている姿を見て、誰もが不安のなかでやっているのだと思い安心しました。</p> <p>子どもの成長を楽しんでいる親の姿を見たら、私も早くそんな感情を感じたいと思いました。</p>
26	<p>お母さんが楽しそうに子どもと接していたからです。大変なこともあるようではありましたが、それでも子どもが可愛らしくて仕方ないという感じでした。</p>
27	<p>今回、3時間子どもと触れ合うことができ、子どもの遊んでいる姿、眠たくなり泣いている姿など様々な表情を見ることができました。しかし、まだ知識が足りない部分も多いと感じ、これからも学ばせていただこうと思いました。</p>
28	<p>前述した通り、子どもの可愛らしさに触れて子育てのいい面を見られたから。</p>
29	<p>児童館や子育て支援センターをうまく活かしながら育児の不安な部分は解消しながら子育てを楽しんですることも自分次第で出来ることを訪問先のお母さんの話を聞いて学んだからです。</p> <p>しかしやはり楽しいことばかりでなく、仕方ないけれど自分だけの時間はほぼ無くなるというのが現実という事も知りました。</p>
30	<p>訪問先のお母様が、もうすぐお仕事を再開されるとのことだったので、育児をしながら働いているお母さんは多いんだなと思い、少し励まされました。また、お子さんとお母様が話す姿もほのぼのとしていて、育児ってやっぱり楽しそうだなと思いました。</p>
31	<p>日に日に成長していくのが、嬉しくて可愛くてしょうがないとおっしゃっていたので、子育てもしんどいだけでなく楽しさも感じれるのだと思いました。</p>
32	<p>今回はお母さんもお父さんも在宅中の時に訪問させていただき、両親どちらも子育てに関わる話を聞かせていただいたので、子育て家庭のリアルな姿や悩み、喜びなどを教えていただき、将来子どもが家にいる生活というものが自分の中で少しリアルになった。</p>
33	<p>お母さんから子育ての話聞かせていただいて、お母さんとお父さんがとても幸せそうにお子さんと接している姿を見て、自分もこんな風に幸せな子育てがしたいなと思いました。</p>
34	<p>お母さんがお子さんと楽しく遊んでおられる様子が見られたから。</p>
35	<p>子どもたちと関わる機会はあるが、家庭での子どもの過ごし方をみることができ、とても新鮮に感じました。また、家具の角を保護したり、マットが敷いてあったりと環境面も気をつけなければならないと頃がたくさんあり、大変だと感じました。</p>
36	<p>考え方ひとつで捉え方が変わりました。例えば、部屋が散らかっても、子どもが散らかすことは子どもの仕事だと考えれば今日も元気に遊んでいると思えると思います。</p> <p>また、近所の人と関わりがあると悩みを相談できたり、遊ぶ範囲が増え活動が増えると思いました。</p> <p>以上2つのことは私にも実行できると思い、不安が少し軽減されました。</p>
37	<p>子どもと同じ目線とはこのことかと思うようなお母さんの接し方を見て、家と外でのメリハリ、子どもとの関係性がいかに重要であるかということがわかりました。関係性がしっかりしていれば、なんとかなるの精神と笑顔で子どもたちもニコニコの子どもたちに育つのかなと感じました。</p>
38	<p>子育ては簡単なものではないので不安がなくなることはないと思います。けれどもそれ以上にやっぱり子供は可愛いし今日できるようになったことや私の存在を必要としてくれまとめてくれるということはとても嬉しいことだとおもいました。</p>
39	<p>楽しそうに育児をされている姿を見て、育児はやっぱり辛いものではないと再確認できた。しかし、自分にそのような育児ができるのかという不安は残るため、やや軽減したという回答である。</p>

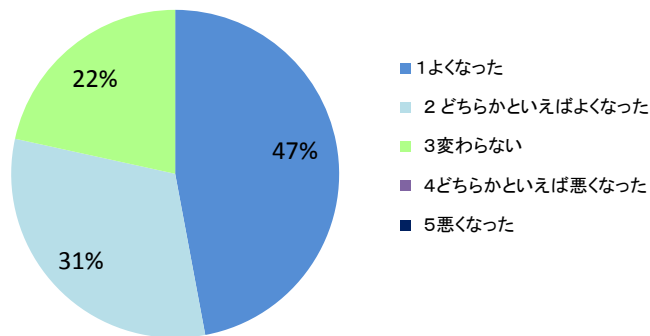
40	子育てするという事は、私はまだ未経験なためどういものなのか不安でした。しかし、今回のボランティアに参加し、保護者の方に子育てについてお話を聴く機会を頂くことができ、子育てについて学ぶ事ができました。私の中の子育てに対する不安は少し軽減しましたが、やはり不安な事はまだあるため、やや軽減されたを選びました。
41	実際ご家庭に行くと、家の中がとても幸せな空気が漂っている気がして、辛いこともあるけど楽しさが勝ちそうだなと感じた。

軽減されなかったと回答した理由

42	子育てを自分でいまはできない
43	子どもと遊ぶのに夢中で、あまりお母さんに子育てについての質問ができませんでした。 なので、子育てに対する不安はあまり解消できなかつたです。しかし、子どもと遊ぶのはとても楽しく有意義な時間を過ごせたので、自分が子育てをするイメージが湧き、自分も将来子どもが欲しいなと強く思いました。
44	子供と遊ぶこと自体はとても楽しいと思ったが、世話をするとなるとかなり大変なことも多そうだったから。地域や周りの人の支援が不十分な部分もあると感じたから。
45	こどもは感情に素直な分いっぱい泣いたり大変そうだった
46	私には 10 歳下の弟がおり、母が子育てする姿をずっと見てきたため、今回の経験が直接子育てへの不安軽減に繋がりはしませんでした。 どうしても訪問先のご家庭のゆとりのあるお時間に訪問することになるので、「子育て」そのものを見ることは出来なかつたように感じましたが、子供と触れ合う機会のない人にとっては子育てへの良い 1 歩になるのではと思います。
47	1 人で3人の子どもに目を配っていないといけなときは、大変だろうなと思いました。いつ何が起るかわからないので、家の中でも目を離している時間はなさそうです。
48	子どもが多いほど、子育てをすることは大変だと感じ、自分自身に置き換えてみた時に、子育てできるかなと思ったからです。
49	子どもと遊ぶことは好きで楽しいが、実際、自分が子育てを考えると、できるかは不安である。子ども 1 人なら育てることができるかもしれないが、2 人以上は不安である。特に、男の子の兄弟は大変そうだった。ケンカも多いと聞いたので、不安である。
50	仕事をしている女性が育休を取る時に、育休の制度はあるけれど仕事を続けたいのに、やめるような周りからの目があったり、迷惑をかけるので辞めてしまう人がいると聞いたことがあります。私も、将来仕事を続けたいと考えているので、その辺りが不安です。
51	子どもたちが予想外の動きをして怪我をする、という場面に遭遇してしまったので少し不安が増したかもしれません。おもちゃ 1 つとっても、子どもが怪我をしたりする危険性を極力取り除くよう意識しなければならぬということを改めて痛感させられました。小さい子には自分で避けられない危険は、保護者や保育者が取り除かなくてははいけない。

問17 : 今回の訪問後に、結婚に対するイメージは変わりましたか？(SA)

	n	%
1 よくなった	24	47%
2 どちらかといえばよくなった	16	31%
3 変わらない	11	22%
4 どちらかといえば悪くなった	0	0%
5 悪くなった	0	0%
全体	51	100%



問18 : 今後あなたは、子どもと触れ合う機会を増やしたいと思いますか？また、どんなことをしてみたいですか？

1	そう思う。子どもと関わるボランティアなどしてみたいと思った。
2	増やしたい 公園で遊びたい
3	増やしたいと感じた。 公園で一緒に遊んだり、自然と触れ合いながら活動できるのも良いと感じた。 大学で作成したおもちゃや紙芝居をするのも楽しいのではないかと思う。 一緒に簡単な工作をして思い出を作ったりもしたいし、お菓子作りなどにも挑戦してみたい。
4	今回の体験で、これからも子どもたちと触れ合いたいと思うようになった。子どもたちと遊ぶのは非常に楽しく、なぜか癒された。そのため、これからもたくさん子どもたちと触れ合いたいと思った。そして、今回は 2 時間の体験だったが、楽しかったためかすぐに時間が過ぎた。今度はもう少し長い時間一緒に触れ合いたいと思った。
5	今後子どもと触れ合う機会をもっと増やしたいと思った。私自身が絵本に興味があるので、子どもがどんな絵本に興味を持つのか、どんな絵本を好むのか、知りたいし、読み聞かせもしてみたいと思った。
6	増やしたいと思う。 今回は家庭の中での遊びだったので、外に出て公園で遊具を使った遊びなどを一緒にしてみたい。
7	増やしてみたいです！ 色々な月齢の子ども、女の子、男の子たくさん触れ合ってみたいです！もっと知らない事がたくさん学びたいです！ お家でできる事と言えばなんか一緒に工作をしたり普段できないことをしてみたいです
8	絵本を読んであげたり、一緒に何か作ったりしたい。
9	子どもと触れ合う機会を増やしたいと思います。どうしても子供と触れ合う時間が制限されてしまうため、キャンプのような泊りがけで触れ合えるような機会があればいいと思います。
10	増やしたい。 長い時間体験してみたい。
11	増やしたい。 兄弟のふれあいを見てみたい。
12	増やしたいと思う。 もっと時間を長くして、一日体験してみたいと思いました。 家事の様子や生活に密着した子育ての様子も見たいと思いました。

13	子どもと触れ合う機会はぜひ増やしたいと思います。今回は家の中での体験でしたが、公園など外でも一緒に遊んでみたいです。またいろいろなお母さんから育児のお話を聞いてみたいと思いました。
14	子どもと触れ合う機会は増やしていきたいです。 今回は赤ちゃんだったので、幼稚園児や小学生の子どもと触れ合う機会をもちたいとおもいます。
15	子どもとの触れ合い方に最初は戸惑ってしまいました。大学で子どもについて学んでいるのに、実際に子どもと触れ合う機会は少ないというのはもったいなかったと思ったので、今後はもっと子どもと触れ合う機会を増やしたいです。具体的には、子どもがいる場所でアルバイトをしたりボランティアをしてみたいです。
16	増やしたいと思う。 もっと子どもに関する知識をつけて、子どもにとって良い関わりを持ちたい。
17	増やしたいと思います。大学を通して幼稚園や保育園でのボランティアを行なったりしたいです。また今回初めて訪ねた伸びやかスペースあちに定期的に顔を出して行きたいとも思っています。
18	増やしたいと思う。授業で紙芝居を作ったり歌を歌ったりすることがあるので、保育園などを訪問して子供達に披露する機会があれば良いと思う。子供達の反応を見て、改善点が見つかると思うから。
19	思う。 一緒に遊ぶこと。 病児保育など
20	どんどん増やしていきたいと思います。そして、友人や部活の仲間を誘って支援施設を訪問したいです。そうして、支援の輪を少しでも広げられたらと思います。
21	増やしたいと思います。今は小学生と関わる人が多いですが、今回の経験で小さい子どもも可愛くて楽しいと思ったので、また触れ合いたいと思いました。色々な子どもと関わって、その子どもの個性を知りたいなと思いました。
22	思う、こどもと遊びたい
23	子どもの関わることはとても楽しいと感じたので、このような機会を増やしたいと思った。子育て支援センターなどに来ている子どもと遊ばせてもらったり、ボランティアをしたりしたいと思った。お母さんの話もたくさん聞きたい。
24	今回の体験を通じて、子どもを好きという気持ちがさらに増し。もっと触れ合う機会を増やしたいと思いました。今までは3歳以上の子と触れ合うことが多かったのですが、今後は0.1.2歳の子どもたちともっと関わって見たいと思います。
25	子どもと関わる機会を増やしていきたい。 子どもと一緒に弁当を持ってピクニックなどに行きたい。 公園などで思いっきり体を動かすのもいいなと思う。
26	増やしたいと思いました。活動のなかで、まだまだ子どもとの接しかたが難しいと思うこともあったので、いろんな子と接していく中で、上手に接しられるようになりたい。具体的には、施設に行くなどして子どもと遊びたい。
27	増やしたいと思います。将来幼稚園か保育園で働きたいと考えていること、なにより子どもが好きだからです。 子どもとたくさん遊んでみたいのはもちろん。自然の多い場所へ行ったり一緒に料理をしてみたりもしたいです。
28	子供と触れ合う機会は増やしていきたい。 林のようなところで秘密基地をつくったり、クラフトをしたりしてみたい。1対1も良いが、子供たち同士の関わりあいを作ることの出来る場も欲しい。
29	子どもと触れ合う機会を増やしたいと思います。子どもと一緒に外で走り回ったり、部屋で絵を描いたりなど、色々な遊びをしたいです。

30	増やしたい。今回は遊びしかしなかったが、できたらオムツを替えたり、ご飯を食べさせたりといったこともしてみたい。
31	あーちで実際に子どもと触れ合ってみて、自分が思っていた以上に子どもの事が好きだということに気づくことができました。しかしこれまで経験が無い分、接し方に迷いがあつたりしたためこれからは接する機会をどんどん増やしていきたいと思いました。おもちゃで遊ぶだけでなく抱っこしたりおんぶしたりというように直接的な触れ合いもしてみたいです。
32	できることなら増やしたいですが、アルバイトをしている子ども園以外での触れ合う機会ほとんどないと思います。子ども園でたくさんの幅広い年代の子どもと触れ合っているの、これを継続しようと思います。
33	増やしていきたいと思います。今現在も保育園でのアルバイトを通して子どもたちと触れ合う機会は得ていますが、0歳の赤ちゃんのおむつ替えや食事の世話をする機会はあまりないので、これからボランティアなどに積極的に取り組み、経験していきたいと思います。
34	増やしたい。ボランティアで子供も遊べる場所へ行って様々な年齢の子供も遊ぶ。
35	増やしたい。いろんな子どもの姿をみる以外にも、それぞれの家庭でどんな子育てをされていて、どんな悩みや喜びがあるのかということを知りたい。
36	増やしたいです。一緒に遊べるようなイベントを企画したり、お母さんやお父さんが子どもとふれあえてその中で一緒に遊んだりしてみたいです。
37	もっとたくさん子どもと触れあいたいと思う。外でも遊びたいし、もっといろんな遊びをしたい。
38	子どもと触れ合う機会を増やしたいです。 乳児と触れ合う機会が少ないので、ミルクをあげたりオムツを替えたりしてみたいです。 子どもとも保護者の方とも信頼関係があるのであれば、保護者の方が忙しいときや出かけたいときに子守りもしてみたいです。
39	触れ合う機会は増やしたいです。 小さい子どもだけでなく、学童保育や預かり保育等、幅広い年齢の子どもがいるところで、子どもたちと関わってみたいです。
40	増やしたいです。 1歳前後の子どもともっと関わってみたいです。
41	今より子どもと触れ合う機会を増やしたいと思います。子どもともっと長い時間一緒に過ごしたり、訪問先のお母さんとご飯を作って子どもに食べさせてあげたいです。 また、季節イベントを企画して子どもと工作をしたり、お菓子を作ってパーティをしたいと思います。
42	触れ合う機会は増やしたい。一緒に遊んだり、ミルクなど、食事の補助をしたい。お風呂に入れる経験は少ないので、お風呂に入れてみたい。
43	増やしたいです。子どもたちとクッキングであったり、公園に行つて遊ぶであったり、何気ない日常の一コマを自分がお母さんとなって出来るようなことをしてみたいです。
44	増やしたいです。子どもたちが集まる公園での実習とかあれば家の中だけの実習にならずまた違った発見があつて面白いんじゃないかと思っています。
45	1人の子供と接する機会もいいですが大人数の子供と接する機会を増やしたいと思います。もっと子供が喜ぶ歌や踊りの種類を増やしたいと思いました。

46	増やしたい。もっと日常生活の基本的習慣のお手伝いをしてみたいと思った。オムツ交換やトイレで排泄の練習など、生活するとき起こることを体験したい。
47	今回のボランティアを参加し、また機会があれば、ぜひ参加したいと私は思います。また、保護者の方の結婚や子育てについての体験をもっと知りたいなと思いました。なので、保護者の方のお話をお聞きできる機会があればいいなと思います。
48	子どもと触れ合う機会は増やしたいです。出来ればいっぺんに多くの子どもと関わるのではなく、目の前の子どもとしっかり関わる活動をしたいです。
49	今回は、お家の中で遊んだので次回このような機会があれば、公園や森の中で自然に触れ合いたいです。そして、面白い葉っぱを見つけたり、直接的な記憶に残る経験を一緒にしたいと思います。
50	近所で子どもが外遊びをしていたら、一緒に走り回ったりしてみたい。
51	増やしたいです。今回のようにお家で遊んだり、あと髪を結んであげて、可愛くなったー！と喜んでくれたことが嬉しかったので、女の子を可愛くするお手伝いがしたいなと思いました。

問19 : 今後も、大学生と子育て世帯のマッチング事業を続けていく場合に、どのようなことが必要だと思いますか？今回の経験を踏まえて、要望やご意見などをお聞かせください。

1	まず、体験をする前に直接会い、挨拶をする。 可能なのであれば、好きなものやアレルギーなどのチェックも必要だと感じた。 おもちゃ選びも、仲良くなるために使うのだから遊んでもらう子どもの好きなものを選び、なおかつ一緒に遊べるものを選んだ方が良いと感じた。
2	事前にお会いしておくことで、当日の体験がスムーズに進むので、事前にお会いしておくべきだと思った。
3	子供が好きで色々な体験をしちたたくさんの子どものことについて学びたい学生がいると思います。学生が学生にそう言う事業があるんだよと伝える団体なども、作ってもいいと思います！ 今回ご自宅にお邪魔して普段気づかない事を学べてとってもいい体験ができました。
4	チラシ宣伝のみでは行きたいなと少し思っても、結局申し込まないというような人を何人か見たので、大学側と協力して、大学からの配布メールアドレスなどに宣伝メールを配信すると、それに返信するだけでよくなるので、申込がしやすくなると思います。
5	地域交流の場を増やす。
6	地域交流を増やす。
7	子育ての何を知りたいか、何に不安に思うかを具体化することが必要だと思いました。
8	最初は子育てに対していろいろな不安がありましたが、お母さんから話を聞くうちに不安が軽減されました。子育てに対して不安を抱く大学生は多いと思うので、1人でも多くの学生が子育てや結婚に前向きなイメージを持てたらいいなと思いました。
9	参加したい人というのは多くいると思うので、広報を大きく行うことが良いと思います。
10	私は大学の講義でこの事業について知ったのですが、まだまだ認知度が低いのかなと思います。せっかく子どもと触れ合えるチャンスで良い経験もさせてもらえるので、もっと多くの人に知ってもらわなければならないのかなと思います。
11	今回は初対面の方のご家庭に訪問させていただく形となってしまったが、事前に出会ったことのある方だとより良いのかなと思った。

12	私自身、授業で紹介されるまではこの事業を知らなかったのですが、なんらかの形で大学生に宣伝できたら、もっと活動は広がると思います。
13	子育て支援の拠点施設における継続的なボランティア活動が必要だと思う。授業の一環で数回訪れただけの施設ではなかなか至らない点もあったため。
14	必要。 今回保護者の方の契約希望が多く、初対面の家に訪問する人が多いので、出来るだけ一回以上のことあったことのあるご家族でやりたいと思った。
15	学校では子育て支援施設の案内があったので、そういう施設の案内があるといいと思います。
16	私は授業で知ったけれど、もし受けていなかったら全く知らなかったと思います。受け入れてくださるご家庭も多いようなので、もっと宣伝していただきたいと思いました。
17	こういう機会があったことはいいことだと思う
18	窓口のような存在が必要だと思うので、子育て支援センターなどで、そのような体験がしたい学生と子育て家庭の仲介をする必要があると思う。
19	このような活動がある、ということを知る場がもっと必要ではないかと感じました。わたしも授業で先生が勧めてくれなければ、知らなかったと思います。
20	事前に訪問する家庭の保護者の方と打ち合わせをしておく事が大切。打ち合わせの時に好きな遊びなどを聞いておくと、実際に参加した際に関わり易い。
21	普通に過ごしていると、大学生と子育て世代は接する機会が少ないと思うので、交流する機会を増やすという意味で、大学と提携した子どもの遊び場を作ることがあると思います。大学生も親も気軽に行ける雰囲気を作れば、自然と交流が盛んになると思う。
22	マッチング事業に参加したいご家庭の人をまとめておき、その受付に参加したい学生が来るようにしたら良いと思います。
23	保護者と大学側の信頼関係の構築が大切だと思う。 私たちの場合は訪問時が初対面だったが、あーちという繋がりがあったので安心して行くことが出来た。そうした間を取り持つ何かが無くなれば信頼関係も築きにくく応募しづらいと思う。
24	今回の訪問をさせていただき、家庭での子どもの様子を見ることができるのは、とても貴重な体験だと思いました。打ち合わせを一度で行うことができればと思いました。
25	ちょっとしたことですが、マッチングの際にお子様の年齢や性別がわかると、おもちゃを買っていく際の参考になると思った。
26	お宅に訪問する前に、やりたい事や聞いておきたい事は自分中でちゃんとまとめておくべきだとも思いました。
27	大学生と子育てをしている保護者の方が出会う場と、両者を繋ぐ存在が必要だと思います。
28	今回のマッチングでは、お母さんからの需要が多かったのですが、学生により知ってもらえる工夫をしたら良いのではないかと考えた。
29	学生側も家庭側もお互い初めてちゃんと会うのが家の中ということで、お互いに心配や不安があり、そこが参加のハードルになってしまうかもしれないと思ったので、初めてマッチングする時には神戸新聞の社員さんや教授がいてくれたらお互い安心だと思った。
30	知らない家庭に飛び込んで行くことは学生側も受け入れ先も不安はあると思うので、一度訪問する前にお子さんやお母さんと会って直接話せるような場があればいいと思います。

31	都合が悪くなったときに、臨機応変に訪問日を変えてもらえることが必要だと思います。 今回、はじめに決めていた日に訪問できないとわかり、残念に思っていたのですが、すぐに訪問日を変更してもらえたので訪問することができて良かったです。
32	事業があることを知る機会を増やしていくことが良いと思います。
33	大学生と子育て世代もマッチング事業を続けていくためには、子育てのことについてもっとオープンに紹介いきなり訪問ではなく、どこかの施設で一度一緒に遊んで仲良くなってから訪問するほうが大学生も訪問先の保護者の方も安心できるのではないかと思います。
34	今回、保護者の話を聞くことができたので、子どもと遊ぶだけでなく、保護者に子育ての楽しさや苦勞を聞く機会も必要だと思う。
35	まず活動内容のしっかりとした説明が必要だと思います。そして、訪問先の保護者の方と話せる機会があればよかったな一と思いました。
36	とてもいい活動だと思います。親御さんと話すことでまだ親でないためわからないことも多くあるので色々な目線から見るという意味でとても参加してよかったと思っています。
37	訪問先と早めに連絡をとること。今回は学校の先生に紹介してもらい、家から近くの場所で行きやすいところだったが、行ったことがなごころだと土地勘がわからないため、家にたどり着くまでに時間がかかりそうだった。
38	大学生はまだ結婚についてや子育てについて、分からない事が多いと思うので、そういったお話をお聞きできる機会があれば、より私たちの中の理解が深まると思いました。
39	いきなり家庭に行くのではなく、体験を希望された方が事前に集まり顔を合わせる機会が欲しいと思いました。
40	気軽に参加できるように、近くに訪問するご家庭がない時は提案してくれる。
41	こうした経験ができたことは貴重だったなあとと思うし、自分と違う世代の方と関わる機会がもっと増えれば良いなと思います。

以上